

教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

八鹿青溪校区小中一貫教育だより

八鹿青溪校区小中一貫教育 校長会発行

令和6年3月4日(月)

第3号

第3回 中学校登校【1月23日】

1月に第3回6年生中学校登校を行いました。1回目の少し緊張した顔つきと比べると、ずいぶん柔らかい表情で、しかし真剣に授業を受ける姿がありました。今回は、班で意見を出し合ったり考えたりする、伝え合う授業が多く仕組まれていました。仲間とつながれている安心感からか、自分の思いを臆することなく述べる姿が見られました。6月と10月の中学校生活を体験することで不安が軽減されるとともに、他の小学校の仲間とのつながりが生まれてきたことも感じています。



中学校の先生による技術科の授業。差し金や糸のこ、やすりなど、道具を使ってものづくり。真剣に説明を聞きます。



中学校の先生による社会科の授業。班で資料の記述を読み解き、考えを出し合って意見をまとめていきます。



中学校の先生による国語の授業。相手がヒントを聞いて正解できるよう自分の言葉を吟味し選んで伝えます。

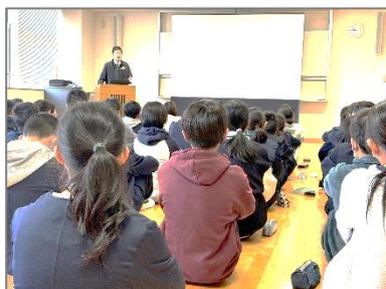
入学ガイダンス 八鹿青溪中学校入学説明会

5校時は児童向けの入学ガイダンスです。生徒会長からの挨拶のあと、中学校での生活や学習について、担当教諭から説明を受けました。また、6校時は保護者も参加して「入学説明会」が開催されました。

年間3回を計画していた中学校登校は、今年度の予定通り1日を通した日程で実施することができました。3回の中学校登校により、6年生は中学校の様子を少しずつ知り、回数を重ねるごとに進学への不安を小さくしていきました。それぞれの学校で、小学校生活をしっかりと仕上げ、中学校に向かってほしいと思います。



入学ガイダンス。生徒会長からの挨拶と話を聞いて、中学生になるという気持ちを高めます。



中学校の先生から学校生活や授業について話を聞きます。小学校との違いを再認識し、気持ちを引き締めます。



入学説明会。親子で各担当の先生方から話を聞き、入学に向けての準備を確認します。制服の採寸も行いました。

令和5年度八鹿青溪校区小中一貫教育のまとめ

八鹿青溪校区小中一貫教育では、専門部会を「まなび部会」「ふるさとそうあん部会」の2部門に分け、小中一貫の目標である「学力向上」と「地域の活性化」に向けた取組の推進を進めてきました。本年度の各部会の取組を報告します。

■まなび部会の取組■

(1) 今年度の取組

「学力の向上」に向けた授業改善

- ①「生き生きと表現する児童生徒の育成」を八鹿青溪校区共通のテーマとし、実践を推進する
- ②「小中一貫キャリアアップ研修」の実施により、教員の資質向上と小中教員の交流促進を図る

(2) 成果と課題（取組②については一貫だより第2号に掲載）

①-1 授業をとおして思考力・表現力の向上を図る取組

- ・発表やグループ対話、タブレットを活用した児童生徒相互の意見交流、他校との交流による多人数での対話等、多様な表現の場を設定した。ICTの効果的な活用は今後の課題である。
- ・動画作成やスライドを活用した発表等、多様な表現方法を工夫することができた。
- ・ペアトークやグループトークは各校で盛んに行われている。また、解き語りやガイド学習など、特色のある表現活動により学びを深めている。
- ・子どもが本時の活動内容を知り、見通しをもって授業に臨むことが大切である。また、子どもに試行錯誤させる場面の設定が必要である。



伊佐小「対話タイム」

①-2 日常の活動の中で表現のスキルを向上させる取組

- ・スピーチタイムやペアトークの時間を設けるなど、各校で方法も内容も多様な表現活動の実践が行われている。
- ・学期ごとの「がんばり発表」や交流する場としての「対話タイム」など、全校的な表現の場を設けている学校もある。
- ・スピーチが苦手な児童生徒に対しては、事前に一緒に内容を考えたり、上手さよりも楽しく表現することの大切さを伝えたりしている。

宿南小「がんばり発表会」



■ふるさとそうあん部会の取組■

(1) 今年度の取組

- ①「そうあんくんの日」の取組の推進
- ②「そうあんくんお手伝い大作戦」の取組の推進

(2) 成果と課題

①「そうあんくんの日」の取組

- ・毎月、第2・第4水曜日の取組として定着しており、読書、自学、グッドメディア、お手伝いに積極的に取り組んでいる。
- ・当日、校内放送で知らせたり、「草庵先生の歌」を流したりして意識づけを図っている。
- ・事前に目標を立てる、取り組む内容を定めるなどして、意欲向上を図っている。
- ・家庭により取組に差がある。特に小学校高学年になると子ども任せになりがちである。
- ・保護者からのコメントは肯定的なものが多い。コメント記述が負担にならないようにしたい。

②「そうあんくんお手伝い大作戦」の取組

- ・冬休みの取組として定着。大掃除やお節料理作りなど冬休みならではのお手伝いもできている。
- ・八鹿青溪校区共通の取組であり、兄弟姉妹で協力して取り組む家庭も見られる。
- ・児童生徒と家族とのよいコミュニケーションの機会である。家族から褒められ、家族の一員としての自覚が向上している。冬休みだけの取組にならないよう啓発していく必要がある。
- ・保護者からのコメントも肯定的なものが多い。家庭との連携が大切である。

小中一貫教育も本校区のスタイルが確立してきました。学習規律や生活規律について連携を深め、一貫した指導ができています。「挨拶、返事」「掃除」「履物そろえ」「そうあんくんの日の取組」「地域活動への参加」の9年間を通して取り組む5つの力も成果を上げており、今後も充実を図っていきたいと考えます。各校ともコミュニティ・スクールを推進し、学校運営協議会も軌道に乗ってきました。各校学校運営協議会の連携をさらに強化し、小中一貫教育に活かしていきたいと考えています。